



岡山市広報連絡資料＜市長記者会見資料＞

令和8年8月10日

「岡山市への防災局の設置」について 内閣官房へ要望活動を行います

岡山市長、岡山市議会議長の連名で、「岡山市への防災局の設置」について、下記のとおり内閣官房へ要望を行います。

1 日 時

令和8年8月20日(木) 15:15～15:30

2 要望先

防災庁設置準備担当 政務三役(調整中)【場所:調整中】

3 要望事項

岡山市への防災局の設置について

4 要望者

【岡山市】

岡山市長 大森雅夫、岡山市副市長 北川由佳

【岡山市議会】

岡山市議会議員 川本浩一郎

5 その他

取材を希望される場合は、8月17日(月)正午までに、社名、人数、記者名、カメラ台数、連絡先、記者章の有無を岡山市政策企画課までメール(seisakukikaku@city.okayama.jp)にてお知らせいただくとともに、電話にてメールの到着確認をお願いします。

- (1) 取材は頭撮りのみとなります。
- (2) 面談終了後に取材に応じます。
- (3) 入館手続きは、岡山市にて取りまとめます。
- (4) 取材に当たっては、腕章の着用をお願いします。
- (5) 要望場所は調整中ですので、取材希望があった社に対して個別にご連絡いたします。

【問い合わせ先】

岡山市 政策企画課 青山・上田 直通086-803-1040 内線3585・3581

●防災庁設置法第16条第1項 防災庁に、地方機関として、防災局を置く

防災立国の推進に向けた基本方針（R7.12.26閣議決定）

「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」及び「南海トラフ地震」に対し、以下の取組を推進する観点から、地方機関の設置に向けた具体的検討を実施

- ・災害リスク評価や対策の検討・実行支援など、事前防災推進によって地域防災力向上に関する支援体制の強化
- ・大規模災害発生時における政府の災害対応の業務継続性や迅速な被災地支援体制の構築 等

岡山市の強み

1 災害リスクの低さ

- ・直下に活断層が存在せず、高次の都市機能が集積する市中心部は津波浸水被害の想定がなく、災害対応拠点として安全性・継続性が確保

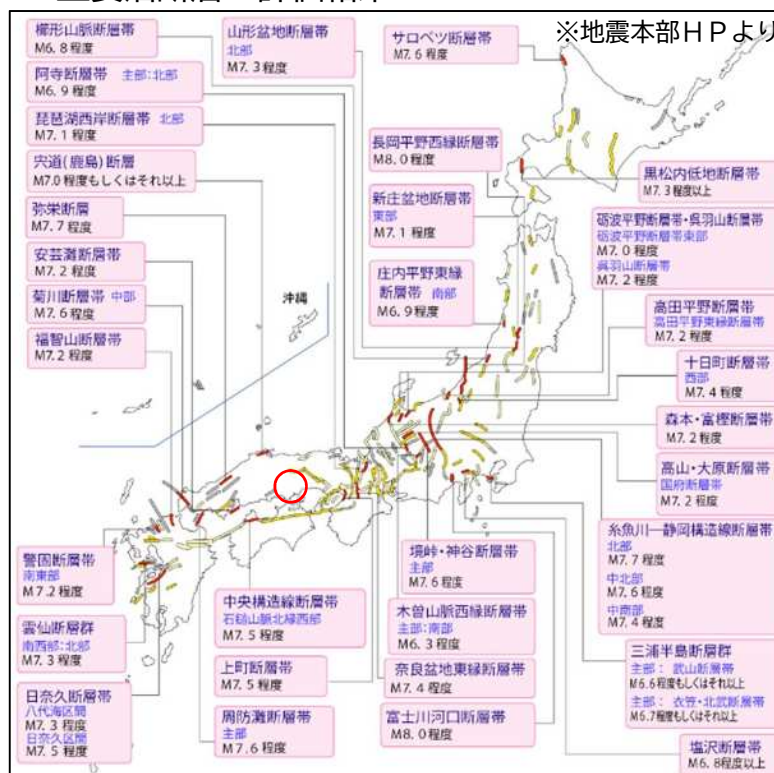
2 西日本の地理的中心

- ・中国地方、四国地方、近畿地方、九州地方を結ぶ西日本の中心に位置し、広域調整拠点として機能

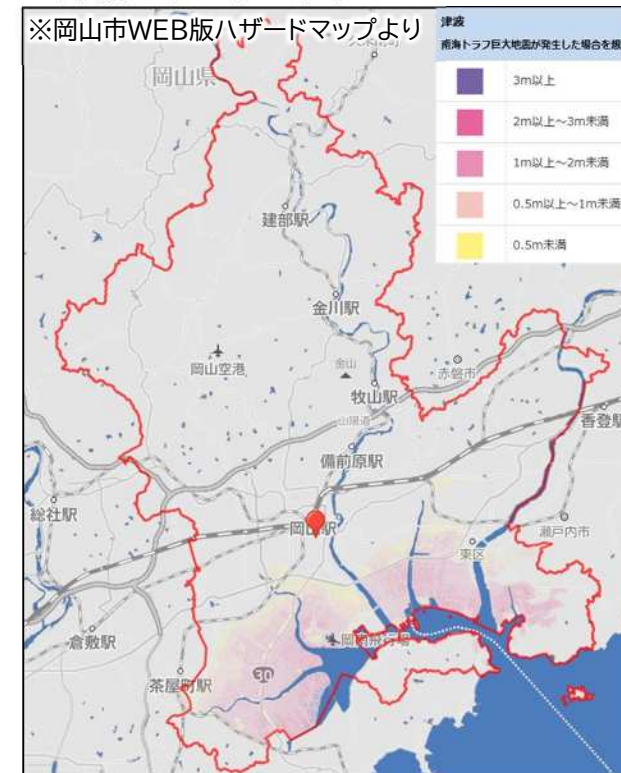
3 多重交通ネットワーク

- ・山陽新幹線、山陽自動車道、瀬戸中央自動車道、岡山桃太郎空港など多重的・代替性の高い交通網

<主要活断層の評価結果>



<津波ハザードマップ>



南海トラフ地震において、中国・四国・近畿・九州という広範囲かつ同時多発的に被害が発生する可能性がある中、岡山市は被災リスクが相対的に低く、東西軸と南北軸がクロスする交通の要衝に位置しており、発災時において迅速な支援体制の構築及び継続が可能、かつ事前防災も効率的に推進することができる。